

令和 8 年 2 月 1 2 日 前橋市環境審議会

地球温暖化防止実行計画2021-2030における温室効果ガスの削減状況について
地球温暖化防止実行計画2021-2030に基づく令和 7 年度の実施状況について



前橋市

1 地球温暖化防止実行計画2021-2030における温室効果ガスの削減状況について

- (1) 区域施策編
- (2) 事務事業編

2 地球温暖化防止実行計画2021-2030に基づく令和7年度の取組について

- (1) 市民向けの取組
- (2) 事業者向けの取組
- (3) 事務事業編に関する取組





第七次前橋市総合計画

平成30年度～令和9年度

第6章 持続可能なまちづくり（都市基盤）

重点施策03 環境配慮型社会の形成



前橋市地球温暖化防止実行計画 2021-2030



前橋市環境基本計画

平成30年3月改訂～令和9年度

前橋市地球温暖化防止実行計画

2021-2030（令和3年度～令和12年度）

区域施策編

前橋市全体から排出される温室効果ガスを
2030年度までに2013年度比で**44.5%削減**

事務事業編

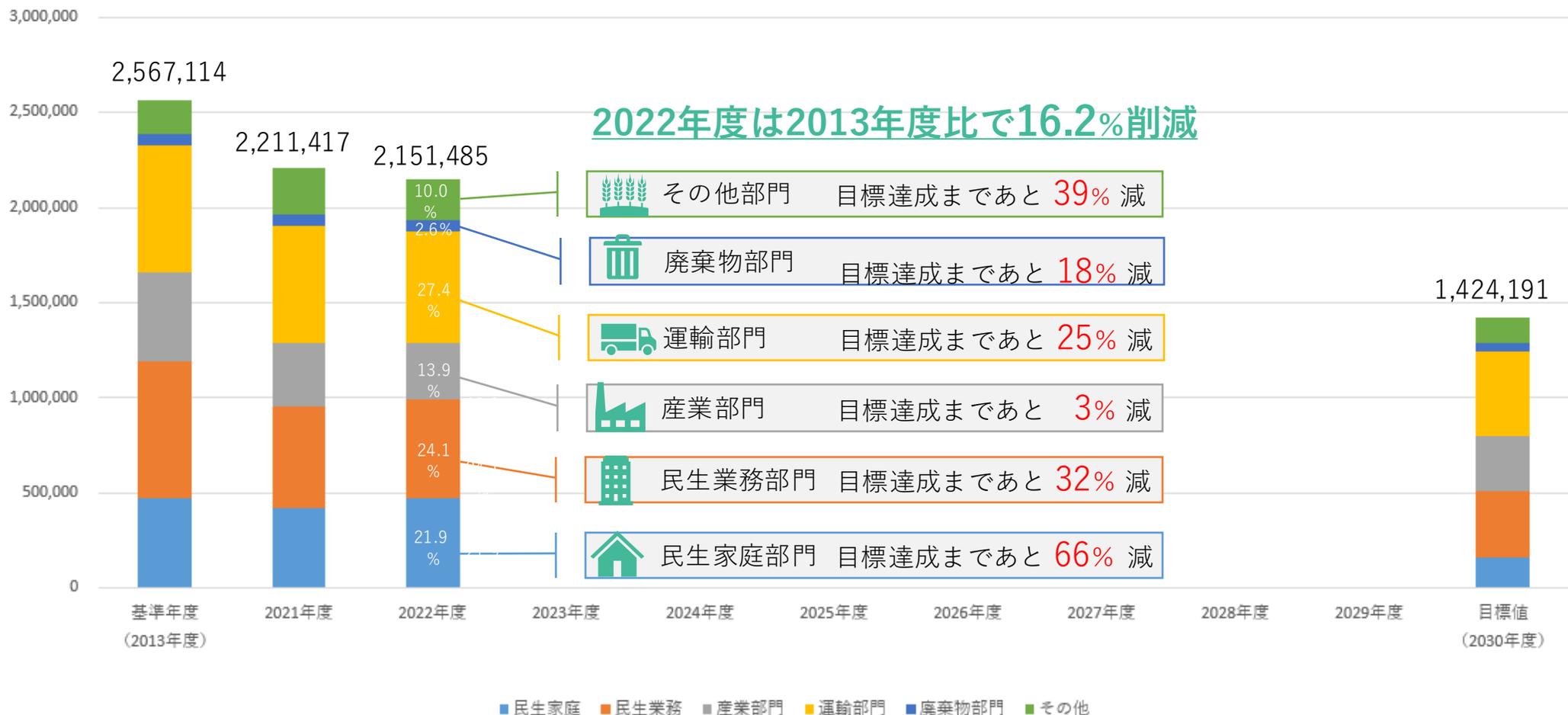
前橋市の事務・事業から排出される温室効果ガスを
2030年度までに2013年度比で**31.8%削減**

温室効果ガスの削減状況（区域施策編）

【計画目標】市全域から排出される温室効果ガスを2030年度までに2013年度比で**44.5%削減**

温室効果ガス排出量の推移

単位：t-CO₂



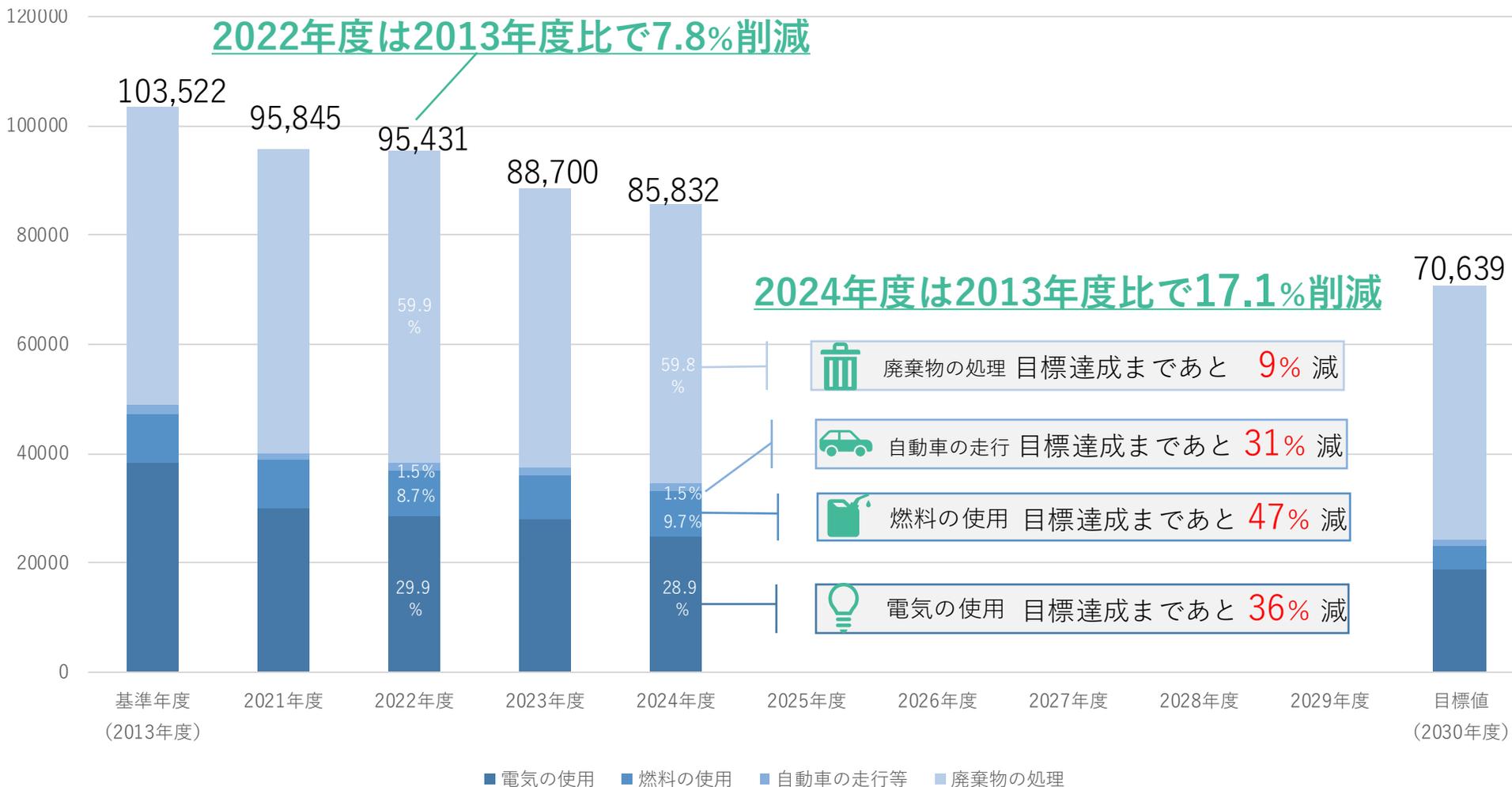
【計画目標】 市役所の事務及び事業から排出される温室効果ガスを2030年度までに2013年度比で**31.8%削減**

温室効果ガス排出量の推移

単位：t-CO₂

2022年度は2013年度比で7.8%削減

2024年度は2013年度比で17.1%削減



地球温暖化防止実行計画における基本施策の体系

温室効果ガス排出量の削減目標の達成に向けて、国の計画策定マニュアルや市民アンケートの結果等を踏まえて、本市が取り組む基本施策を構成。各基本施策について、取組の進捗状況や効果を把握するための進行管理指標を設定

■基本施策と進行管理指標

基本施策 1	再生可能エネルギーの利用促進	再生可能エネルギーの発電能力量（累計）
--------	----------------	---------------------

基本施策 2	省エネ型ライフスタイル等の推進	1世帯あたりのエネルギー消費量
--------	-----------------	-----------------

基本施策 3	環境にやさしい交通システムの構築	年間公共交通利用人数
--------	------------------	------------

基本施策 4	環境負荷の少ないまちづくり	森林（市有林・私有林）の整備面積（累計）
--------	---------------	----------------------

基本施策 5	循環型社会の形成	1人1日あたりのごみ総排出量
--------	----------	----------------

基本施策 6	環境教育・普及啓発活動の推進	まえばし環境家族の延べ参加者数（累計）
--------	----------------	---------------------

地球温暖化防止実行計画2021-2030に基づく令和7年度の取組について

主な取組一覧

市民向けの取組

- 家庭用ゼロカーボン推進補助金 7
- まえばし環境家族 8
- 環境イベントの実施 9
- 情報発信の強化 11
- 公共交通の利用促進 12
- まえばし地域循環PROJECT 13
- 未就学児への環境教育 14
- マイボトル対応型給水機の設置 15
- リユースの推進 16
- ネイチャーポジティブの推進・啓発 17

事業者向けの取組

- 前橋市設備投資支援補助金（省エネ設備導入枠） . . . 19
- 環境に配慮した農業の推進 20

事務事業編に対する取組

- まえばし発エネルギーの地産地消 21
- 市有施設における省エネの取組（ESCO事業） 22



家庭用ゼロカーボン推進補助金（環境政策課）

基本施策 1

基本施策 2

■概要

家庭における新エネルギー・省エネルギーの普及促進を図るため、対象設備を新規に購入し、設置した個人に対して費用の一部を補助する制度。新規で補助対象設備を令和7年4月1日から令和8年2月28日までに購入・設置すること、また、前橋市内に本店・支店等がある事業者から設備の購入又は設置工事が条件

■対象設備及び補助実績

自家発電型給湯機



自家発電の家庭内消費を促進する燃料電池コージェネレーションや自然冷媒ヒートポンプ給湯機

定置用蓄電池設備



自宅で発電した再エネ電気を使い切れない時に貯めておき、必要な時に放電して使用

電気自動車充電設備



再エネで発電した電気をEV車に充電し、夜間や停止時にはEV車から住宅に電力を供給

太陽光発電設備



自宅の屋根にパネルを設置することで、再エネ電気を発電し、家庭内で消費

補助額	30,000 円	10,000 円/kWh (上限50,000円)	50,000 円	50,000 円
申請件数	13 件	84 件	0 件	48 件
補助金額	390,000 円	4,195,000 円	0 円	1,440,000 円

※左記設備と同時に、新規で設置の場合のみ加算

まえばし環境家族（環境政策課）

基本施策2

基本施策5

基本施策6

平成21年度から毎年、小学生とその家族を対象として、夏休み期間に実施。
 「水をこまめにとめる」「電気をこまめに消す」など、環境にやさしいアクションにチャレンジするもの。
 その過程を通して、こども本人だけでなく、その家族のかたにも「環境に配慮した生活」をたのしく実践してもらう。



■参加者数の推移

	参加者数		参加者数		参加者数
H21	4,830	H27	1,270	R3	2,817
H22	3,756	H28	1,686	R4	3,496
H23	3,417	H29	1,979	R5	3,545
H24	2,907	H30	2,124	R6	3,527
H25	246	H31	1,955	R7	4,055
H26	919	R2	2,312		

■事業開始以来、TOP2の参加者数



■参加記念品

半永久えんぴつ（参加者全員に配布）



■エコマスター認定証

ミッションを全てクリアした参加者へ配布（令和7年度初の取組）



環境イベントの実施① 環境の学び舎（環境政策課）

環境教育等促進法に基づく「体験の機会の場」に認定されているサンデンフォレストの協力を得て、市民参加型の自然体験イベントを毎年実施。幅広い年齢層の市民が参加し、活動を通して生き物の生態や生息環境に対する理解と愛着を深め、参加者の環境保全意識の高揚を図るもの。



■令和7年度の開催実績

①ホテル観察会
6月15（土） 22人参加



②アメリカザリガニ釣り
7月13日（日） 32人参加



③森林ウォーキング
11月24日（月・祝） 24人参加



④森づくり体験
12月14日（日） 15人参加



■周知の強化

チラシのデザイン強化、周知ツールの拡大（すぐーるの活用）



■勢多農林高校との連携

勢多農林高校では、令和7年度から、持続可能な農業の研究の一環として、鶏の飼料にアメリカザリガニを活用する実験を実施。サンデンフォレストが、施設内で駆除したアメリカザリガニを提供し、学び舎で捕獲したアメリカザリガニも、当該実験用の飼料として有効活用。その他、ミナミメダカの飼育を行っている児童文化センターのむつみ川でも、定期的に駆除活動を行っている。



環境イベントの実施② まえばしこどもエコフェスタ（環境政策課）

児童文化センターを会場に、こども・親子向けに実施している環境教育イベント。脱炭素・環境配慮型の経営に積極的に取り組む企業、団体等の協力のもと、エネルギーや生き物について楽しく学べるゲームや、家庭でできる環境にやさしい生活について考える環境教室などをスタンプラリー形式で実施



■概要

開催日：令和7年11月22日
場所：児童文化センター
主催：市環境政策課

■スタンプラリー

集めたスタンプの数に応じて景品をプレゼント

<参加者数>
スタンプ3個…約1,098人
スタンプ5個… 258人
スタンプ8個… 210人

■参加企業・団体一覧（全16団体）

- ヤマト運輸(株)
- 永井運輸(株)
- (有)はなぶさ有機農園
- 群馬日産自動車(株)
- (株)サンワ
- 東京電力PG(株)
- (株)フジサワ
- (株)くらまえ
- 東京ガス(株)
- 前橋工科大学
- 県地球温暖化対策中部地域協議会
- 県SDGsファシリテーター
- まきばプロジェクト
- 市交通政策課、農政課、環境政策課



■全体参加者数（推定）

令和5年度 約1,500人
令和6年度 約1,600人
令和7年度 約2,500人 (+900人)

一人ひとりが地球温暖化問題への理解を深め、取組を進めることができるよう、情報発信を強化

■広報まえばし 6月号 環境月間

6月は環境月間
優しさの連鎖は今日の選択から
 環境政策課 ☎027-898-6292

6月5日は環境の日。この機会に日々の暮らしを見つめ直してみよう。今日の行動の選択が、未来の地球やまわりの誰かへの優しさにつながります。

- 図書館で環境をもっと身近に
市立図書館では、環境月間に合わせて環境に関する本などの展示コーナーを設置します。
☎ 5月27日(木)～6月29日(日)
- 親子でも「みぢかな季節かんじ隊」
サクラやヒガンバナの開花日や、ツバメやセミの確率日などを調査しながら、個人での参加も可能。7月からはセミの調査が始まります。詳しくは本紙7月号をご覧ください。
- ザリガニを釣って環境を考えよう
まえばし環境の学び舎事業として、外来種・アメリカザリガニの生態を学びながら、実際に釣ってみるイベントを開催します。
☎ 7月13日(日)9時～12時
☎ サンデンフォレスト(稲川町中之沢)
☎ 市内在住の人、30人(抽選)
☎ 二次元コードのホームページで
- クールシェアスポット
暑い夏は、みんなで涼しさをシェア。市内のクールシェアスポットや給水スポットを上手に使って、快適・エコに過ごしましょう。
- 外来種植物の駆除に協力を
春から初夏にかけて、外来種植物のナガミハナダシやオオキンケイギクが咲きます。生態系に悪影響を与えるため、見つけたら駆除してください。

■環境政策課ホームページ

①まえばしのGX

○まえばしのGX

前橋市では、「ずっと住み続けたいまち」「環境にやさしい社会」をつくるための大切な柱として、温室効果ガスを減らし、自然の恵みを活かしながら、暮らしやすい環境を守っていく「2050ゼロカーボンシティまえばし」を目指しています。

その実現に向けて、「地球温暖化防止実行計画(2021～2030)」を策定し、2030年までに市全体の温室効果ガスを44.5%、市役所の活動から出る分を31.8%減らすという目標を定めています。

前橋市第七次総合計画
 前橋市環境基本計画
 前橋市地球温暖化防止実行計画2021-2030

■環境月間

- ・ 広報まえばし
- ・ 前橋交通ポータルでの啓発記事掲載
- ・ 啓発動画の作成、放映
- ・ 前橋駅北口サイネージ
- ・ 本庁舎1階
- ・ ホームページ
- ・ 市立図書館特設コーナー（貸出実績74冊）



12月号 地球温暖化防止月間特集

12月は地球温暖化防止月間!
 市民のみなさん、環境にやさしい暮らしを実現するために、2050年までにCO2排出量を2013年比で44.5%削減する目標を定めています。

本市の現状と目標

本市の取組

一人一人ができること 生活のヒント

②市内事業者紹介

○前橋市内で地球温暖化対策に取り組む事業者の紹介

○GN群馬日産グループ



自動車のエンジンオイルを「再生重油」として転換し、それをいちご園のビニールハウスのバーナー燃焼に活用することで、資源循環型に取り組んでいます。またCO2発生装置の燃料として「廃プラスチック」の使用や、事業内の電力を再生可能エネルギー由来の電力に変更するなど、さらなる環境への取組を導入しています。

株式会社ぐまいちご園公式サイト

○株式会社サンワ



水をきれいにする、土砂災害を減らす、二酸化炭素を吸収する、生物の生息地を守るといった森林が持続していくため、フォレスト®をつくらせています。地域に根ざしたやさしいまちづくりの成長の拠点を狙っています。

※フォレストとは？
CO2を削減した紙を企業間で売買できる「クレジット」として国が認定する制度です。

株式会社サンワ公式サイト



公共交通の利用促進（交通政策課）

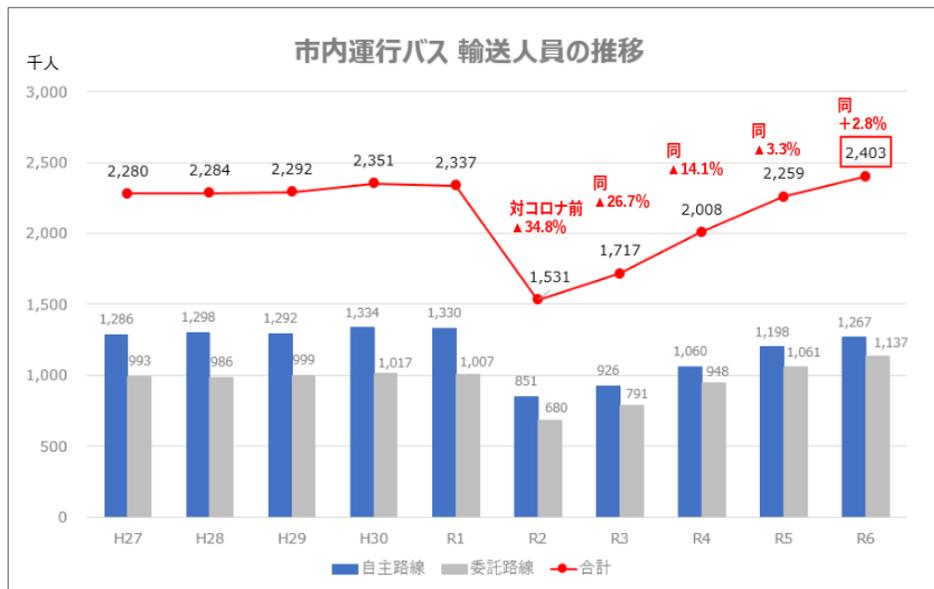
基本施策 2

基本施策 3

過度な自家用車社会からの脱却を目的として、利用者数増を目指した各施策を展開

■路線バスの利用者数は増加中

コロナ禍前の水準を上回り、過去10年で最大



■令和7年度の主な取組

①上毛電鉄交通系ICカード導入

令和8年1月導入完了。

利便性向上に加えて、市内全ての公共交通において、交通系ICカードを活用した施策展開が可能となった。



②運行本数の増回

行先	6	7	8	9	10	11
09	27	41	55			
05	15	22	25	32	36	44
08	28	31	37	42	51	
00	14	24	32	32	47	
00	08	27	37	48	58	
07	17					

<前橋洪川線の時刻表>
 ・運行本数が市内1位
 ・運行本数が確保されている路線は、利用者が多い傾向にある。

③運賃割引施策

- 高校生世代定期補助
対象…16～18歳の市民
対象校の通学定期が半額に
- 若者割引 年齢割引
対象…13～22歳の市民
市内の路線バス運賃を10%割引
- 高齢者割引
対象…70歳以上の市民
市内の路線バス運賃を10%割引

④前橋交通ポータル

わかりやすい情報案内推進事業として、市内の鉄道・バス等の公共交通情報を統一的に発信。令和4年4月開設。

■令和7年度平均アクセス数



1日あたり
／約1,500

まえばし地域循環PROJECT（ごみ政策課）

前年度に開発したおからバイオマス原料を配合した前橋市指定ごみ袋を、レジ袋として実証販売開始。これまでごみとして捨てられてしまっていたレジ袋を市指定ごみ袋として使用することで、地域内資源循環によるプラスチックごみの削減を図る。



■経緯

相模屋食料(株)がプラスチック原料としてTOFURESINを独自開発
→井上ビニール(株)と協同で、令和6年11月にごみ袋を製作

令和7年4月から、株式会社ベイシア、株式会社カインズの小島田店で販売を開始。



外国人へのごみ分別の周知・啓発として、イラストを活用し、分別について8言語対応で分かりやすく案内

※数量10,000枚 価格7円/枚で販売

(日本語・英語・中国語・ポルトガル語・韓国語・ベトナム語・ネパール語・インドネシア語)

市内保育施設において環境講座を実施

園児に食品ロスやSDGsの目標などについて楽しく学んでもらい、園児からその保護者へと取組が広がることによって、家族全体で環境課題解決に向けた「環境にやさしい生活スタイル」の実践が生まれることを狙う。



■環境講座の流れ

①食品ロス啓発動画の放映



②ラジアスの塗り絵



③お菓子と交換（フードバンク・ベトナムより提供）



■実施施設

六供保育所
赤城育心こども園
Surusu上陽こども園
元総社保育所

認定こども園もものき
粕川幼稚園
細井保育所



前橋市ごみ減量マスコット「ラジアス」
を起用した模擬通貨を作製



マイボトル対応型給水機の設置（ごみ政策課）

ペットボトルごみ削減に向けて、ウォータースタンド株式会社と「プラスチックごみ削減の推進に関する協定書」を締結し、市内公共施設にマイボトル対応型の給水機を設置

■協定内容

協定締結日：令和7年4月24日

給水器設置期間：令和7年5月1日～（2年間）



■マイボトル対応型給水機設置場所

設置施設名	設置場所
前橋プラザ元気2 1	1 F にぎわい商業課事務室前
前橋プラザ元気2 1	3 F 中央公民館事務室前
総合福祉会館	2 F 給湯室入口
総合福祉会館	1 F 日吉児童館
市役所庁舎	1 F エントランス 授乳室南側付近
前橋工科大学	メイビットホール（学生会館） 1 F
前橋市児童文化センター	1 F 授乳室通路前
東市民サービスセンター	エントランス 給湯室前
前橋市立第二保育所	2 F おやこのひろば

※青字はクールシェアスポット登録施設

令和8年度は、市民サービスセンターなど他のクールシェアスポットにも給水器を設置するなど、**3R・省エネの推進**に努めていく。

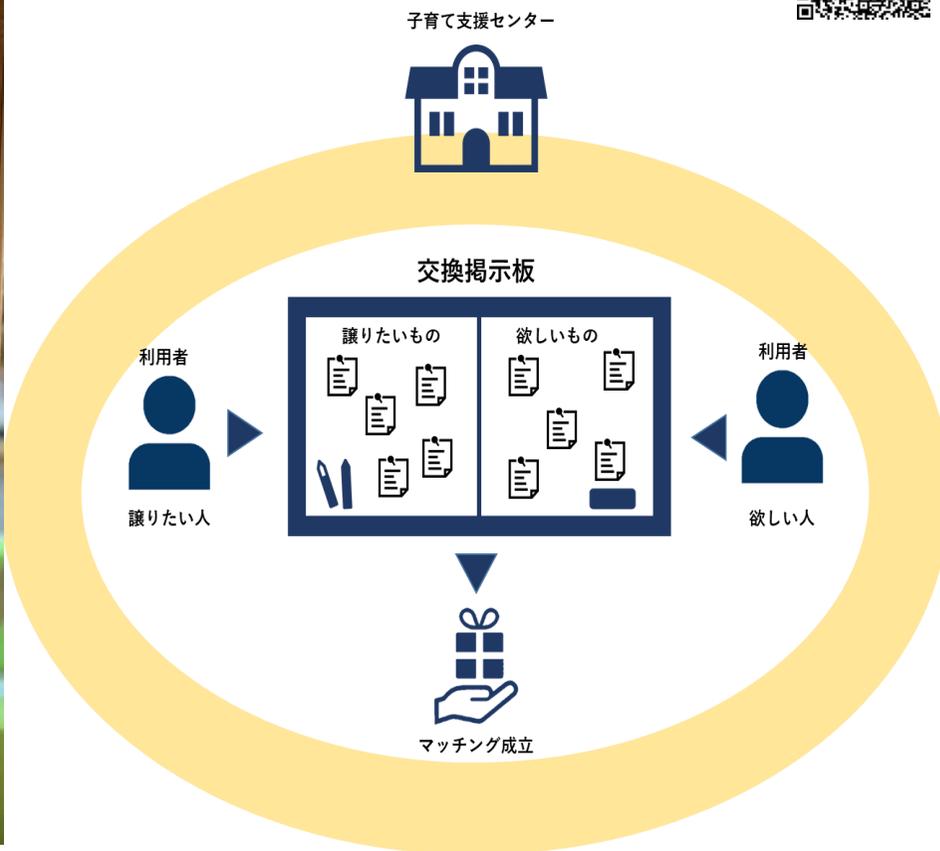


市役所庁舎1F エントランス

リユースの推進（ごみ政策課）



「地域子育て支援センター」などの保育関連施設において、「Le(ル) Lien(リアン)～ヒトとモノをつなぐ掲示板～」と称して、モノを譲りたいヒトとモノを必要とするヒトを掲示板でつなぐマッチング機能により、各家庭で使わなくなったベビー用品やおもちゃなどをリユースする取組
保育関連施設 10か所に設置



ネイチャーポジティブの推進・啓発（環境政策課）

■ネイチャーポジティブ（自然再興）とは

人間活動による生物多様性の損失・自然への負の影響（ネガティブな状態）を食い止め、回復軌道に乗せて豊かな自然環境を再生させる（ポジティブな状態にしていく。）ことを意味している。

現状

- ・過去1,000万年間の平均と比べて10～100倍もの速度で生物が絶滅
 - ・自然環境保全の取組だけでは食い止めることができない生物多様性の損失
- = ネガティブな状態**

これまでの環境保全に関する本市の取組

- ・自然環境調査
- ・みぢかな季節かんじ隊
- ・野鳥観察会
- ・環境の学び舎
- ・河川の水質調査
- ・大気常時監視 等



今後

- ネイチャーポジティブの実現を目指して、自然を守るだけでなく、企業や消費者を含めた社会経済活動全体が、自然資本を保全するような行動をすることが必要
- = ポジティブな状態**

取組例

- ・生物多様性に配慮したサステナブルな農林水産業（有機農業、マイクロプラスチック対策等）
- ・一人ひとりの環境意識が高い行動（環境配慮製品の購入や地産地消といったエシカル消費）
- ・事業拠点における環境配慮（屋上緑化やビオトープ）



ネイチャーポジティブ

生物多様性の損失を止めて反転させること。

カーボンニュートラル

温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させること。

サーキュラーエコノミー

資源の効率的利用と廃棄物の最小化を目指すこと。

人と自然が
共生する
社会の実現



■サンデンフォレストの概要

東京ドーム約15個分の敷地に、生態系が復元するよう整備する「近自然工法」を用いて2002年に造成された、サンデン(株)の事業所。敷地の半分を工場、半分の森林・緑地が占めている。



■緑地・森林の経年変化

元々は荒廃した森林や農地だったが、植樹やビオトープ造成の取組により、20年後には広葉樹の雑木林へと発達。2017年に実施した生態系調査では、動物が160種、植物が626種確認され、天然記念物のヤマネ（記録では市内初確認）も発見された。

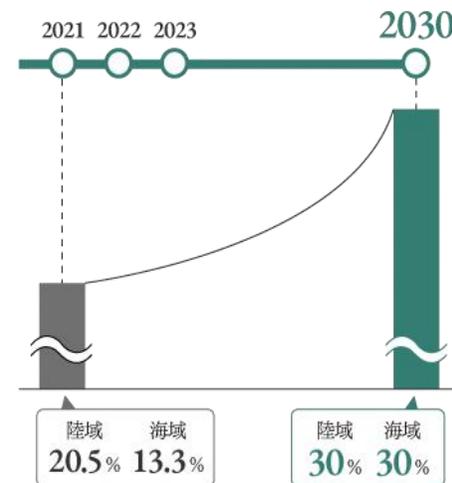


■自然共生サイトの認定

2023年 認定制度開始後、初年度認定
2025年 生物多様性増進活動促進法の施行に伴う再認定

■30by30（サーティバイサーティ）とは？

2030年までに、陸域と海域の少なくとも30%を健全な生態系として保全することを目指す国際目標で、ネイチャーポジティブの実現のための重要な取組の一つである。生物多様性の回復と保全、気候変動対策への貢献、豊かな自然の恵みの回復などが期待されている。



■自然共生サイト制度とは？

30by30達成のための国の取組で、国立公園などの公的な保護区以外で、民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域(OECM*)を国が認定する制度のこと。

企業緑地、社寺林、里地里山などで、自然環境の価値を維持・向上させる取組が行われている区域を認定対象としている。

- 2021 OECMを国が認定する仕組みを検討
- 2022 30by30ロードマップ公表、COP15 第二部開催予定
- 2023 少なくとも100地域以上で認定



*Other Effective area based Conservation Measures

前橋市設備投資支援補助金（省エネ設備導入枠）（産業政策課）

基本施策 1

基本施策 2

市内事業者に対する、省エネ設備の導入支援。省エネ推進に寄与する設備の導入・更新に要した経費の一部を補助
 ※省エネ診断等の結果によって、事業所のエネルギー削減や二酸化炭素排出量の減少が見込まれる設備が対象

■補助金額

補助率：補助対象経費の1/3以内
 補助上限額：100万円

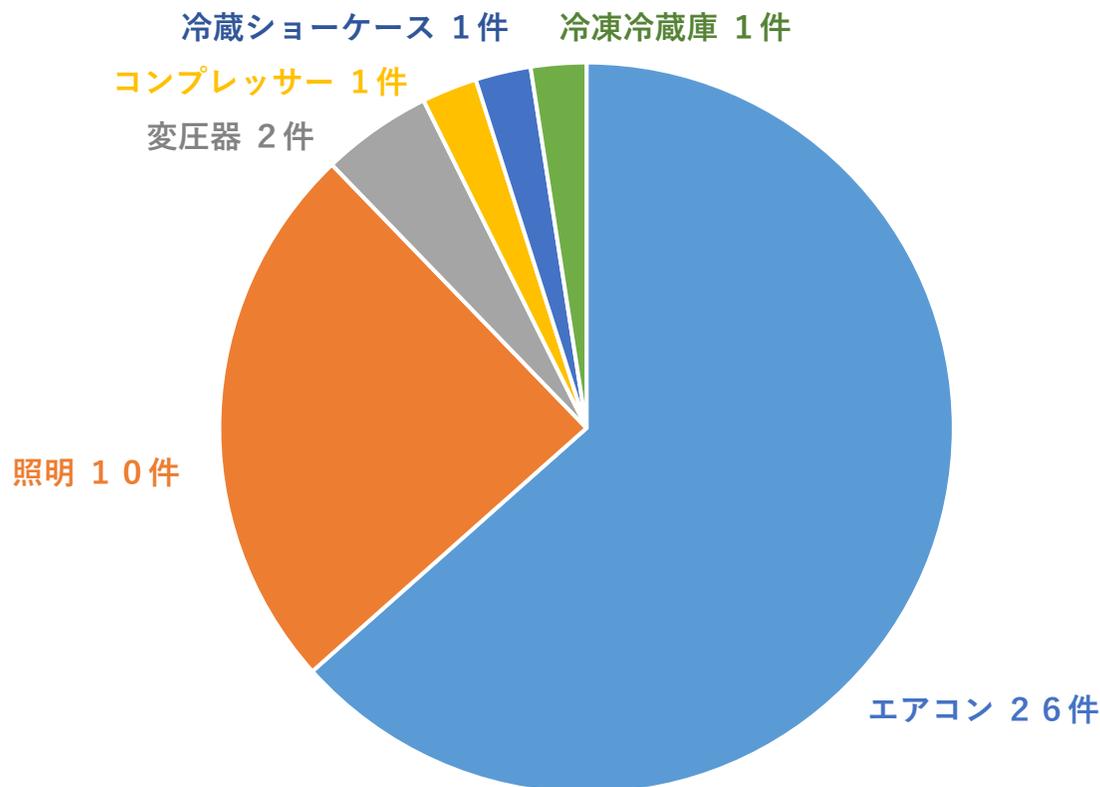
■予算

当初予算 2,100万円
 補正予算 1,000万円
 合計 3,100万円



■令和7年度の補助実績（令和8年1月時点）

合計41件



環境に配慮した農業の推進（農政課）



本市と前橋市農業協同組合は、令和6年10月25日に「**前橋市環境配慮型農業～脱プラスチック・脱メタン宣言～**」を行った。農業分野におけるマイクロプラスチック排出対策や、水田から発生する温室効果ガスの低減促進など、様々な事業の周知・実施を目指している。



■ マイクロプラスチック対策

稲作で使用する肥料の**被覆殻（マイクロプラスチック）**が水田から流出する防止対策として、排水口に捕集ネットを設置。令和7年度は、被覆肥料を使用している**市内23法人にネットを配布**し効果を検証



肥料の被覆殻
【写真：四日市大学】



捕集ネットの設置状況

■ メタンガスの削減

稲作の**中干し期間を延長**することによる**メタンガスの排出削減**を推進。**生産者向け研修会**の開催や取組を行った法人への**支援金の給付**を実施。R7年度は、2法人が試験的に実施。国のJ-クレジット制度を活用し、削減した温室効果ガスをクレジットとして売却することを目指す。



中干し延長期間中の水田

※ 今後は、上記以外にもメタンガス排出削減効果のある取組の推進を検討

まえばし発エネルギーの地産地消（環境政策課）

基本施策 1

六供清掃工場において廃棄物を焼却する際に発生する熱を用いて発電した余剰電力を、市有施設に託送。二酸化炭素を出さない環境にやさしい電気を使用することで、温室効果ガス排出量を削減するとともに、電気料金の低減にも寄与



■事業の経過

- 令和 3 年 実証事業開始 6 施設に電力を供給
- 令和 5 年 本格稼働開始
- 令和 6 年 電力の供給先を全22施設に拡大

■電力供給先（全22施設）

- 図書館
- 障害者教養文化体育施設
- 総合福祉会館
- 大胡支所
- 粕川支所
- 宮城支所
- 富士見支所
- 水質浄化センター
- 敷島浄水場
- 本庁舎
- 議会棟
- 荻窪清掃工場
- 富士見クリーンステーション
- ポンプ場 5 箇所
- 排水処理施設 3 箇所
- 前橋し尿排水処理施設



■令和 6 年度実績

電力使用量

合計	自己託送	自己託送率
16,135,799 kWh	8,231,909 kWh	51.0 %

電力の低炭素化

従前の契約	自己託送	削減率
6,955 t-CO ₂	2,308 t-CO ₂	66.8 %

電気料金の削減

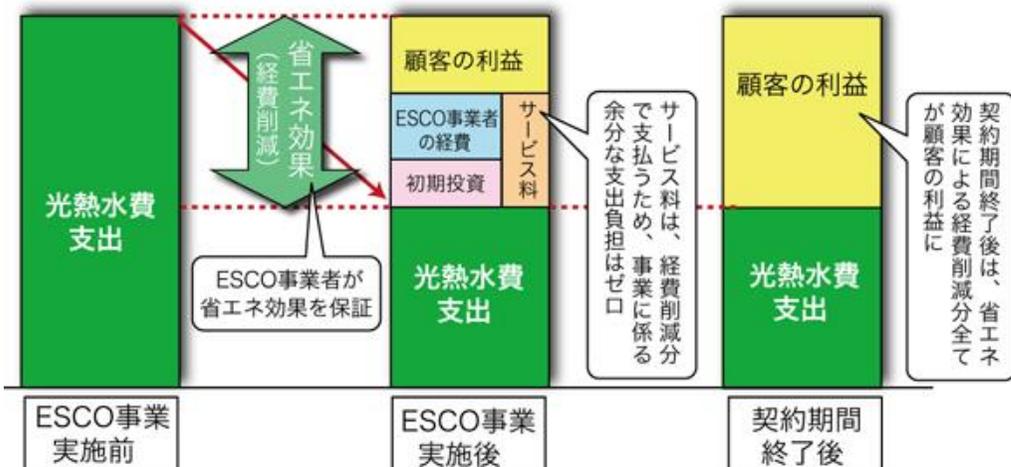
従前の契約	自己託送	削減額
約 4.36 億円	約 3.92 億円	約 4,400 万円

市有施設における省エネの取組（ESCO事業）（資産経営課）

市有施設での省エネルギーの推進及び環境負荷の低減、さらに光熱水費等の効果的な削減を図るもの



■ESCO事業について



Kids環境ECOワード「ESCO事業」から引用
https://www.eco-word.jp/html/04_energy/en-13.html



■ESCO事業を進めている施設

①日本トータースタジアム前橋

実施期間：平成28年～令和13年
 内容：高効率ガス冷温水機や空調の外気制御、LED照明・誘導灯化、節水設備導入等
 想定効果：省エネ率29.15%、CO2削減率28.57%

②市役所本庁舎

実施期間：令和8年～令和17年
 内容：空調設備等各設備の更新及び光熱水費削減を含めた省エネルギー管理
 想定効果：省エネ率22.29%、CO2削減率24.07%

その他、総合福祉会館及び斎場について、実施を検討中（導入可能性調査実施済）

水と緑と詩のまち



前橋市

Maebashi city
